



2021年度
決算概要



Enhancing planetary health

2022年5月12日
日揮ホールディングス株式会社

グループ財務部長の田口です。

これから、2021年度の決算概要についてご説明させていただきます。

CONTENTS

目次

- ハイライト
- 連結損益計算書
- セグメント情報
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー計算書
- 受注の状況
- 2022年度の業績見通し

(参考資料)

- 2022年度 セグメント別 業績見通し
- 株主還元方針
- 地域別売上高、受注高
- 開示情報の変更
- 業績推移 - 通期



ハイライト

- 2021年度は、EPCプロジェクトの順調な進捗・完工、好調な機能材製造セグメント、円安影響によりすべての段階損益で予想を上回る着地
- ウクライナ情勢による影響は、現時点で想定されるリスクをプロジェクト採算に反映
- 2022年度は増収増益を予想

最初に2021年度決算のハイライトです。

今期は国内外でEPCプロジェクトが順調に進捗し、大型案件が完工しました。機能材製造セグメントも好調でした。結果としてすべての段階損益で業績予想を上回る着地となりました。

ウクライナ情勢による影響は、長期大型プロジェクトにおいて、主に調達活動への影響が懸念されています。今後発注する資機材の価格上昇などによるコスト増のリスクを現時点で想定できる範囲でプロジェクト採算に反映しました。

2022年度は増収増益を予想しています。

連結損益計算書

| | FY2020 | FY2021 | 前期比 | 【億円】 | |
|-------------------------|--------|--------------|--------|----------------|------|
| | | | | FY2021 業績予想 | 達成率 |
| 売上高 | 4,339 | 4,284 | △ 55 | 4,700 | 91% |
| 売上総利益 | 437 | 453 | +15 | 420 | 108% |
| 利益率 | 10.1% | 10.6% | +0.5pt | 8.9% | - |
| 営業利益 | 228 | 206 | △ 21 | 200 | 103% |
| 経常利益 | 255 | 300 | +45 | 240 | 125% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益・純損失 | 51 | △ 355 | △ 406 | △ 420 | - |

次に連結損益計算書です。

売上高は前期比55億円減収の4,284億円で通期予想を約400億円下回りました。

売上総利益は、前期比15億円増益の453億円でした。

第4四半期にウクライナ情勢によるプロジェクトのコスト影響リスクを見込みましたが、円安の影響に加え、工事終盤の複数の案件で建設工事リスクなどの解消による追加利益計上があり、通期予想を33億円上回りました。

営業利益は、前期比21億円減の206億円となりました。販管費が前期比37億円増加したことで前期比減益となりました。販管費の増加は第4四半期に貸倒引当金繰入額33億円を計上したことなどによるものです。通期予想との比較では、売上総利益の増加が販管費の増加を吸収する形になり、営業利益は予想を若干上回る着地となりました。

経常利益は、前期比45億円増益の300億円となりました。営業外の為替差益、受取配当金、持分法投資利益の増加によるものです。通期予想との比較でも60億円上振れました。

親会社株主に帰属する当期純損失は355億円となりました。通期予想発表値からは65億円改善する結果となりました。

セグメント情報

| | | 【億円】 | | |
|-------------|---------|--------|--------------|------------|
| | | FY2020 | FY2021 | 前期比 |
| 総合エンジニアリング | 売上高 | 3,885 | 3,779 | △ 105 △ 3% |
| | セグメント利益 | 168 | 132 | △ 36 △ 21% |
| 機能材製造 | 売上高 | 407 | 442 | +35 +9% |
| | セグメント利益 | 58 | 72 | +14 +25% |
| その他 (調整額含む) | 売上高 | 46 | 61 | +14 +32% |
| | セグメント利益 | 2 | 1 | △ 0 △ 29% |
| 合計 (連結) | 売上高 | 4,339 | 4,284 | △ 55 △ 1% |
| | セグメント利益 | 228 | 206 | △ 21 △ 10% |

次にセグメント情報です。

総合エンジニアリングは前期比で減収減益です。売上高は105億円減収の3,779億円でした。国内では、複数の長期大型案件が、工事序盤であったことから売上計上は限定的となりました。海外では大型案件の進捗が伸びましたが、当初の期待は下回りました。

セグメント利益は円安影響や追加の利益計上により粗利益が増加したものの、販管費の増加により前期比36億円減益の132億円となりました。

機能材製造セグメントは前期比で増収増益です。

売上高は35億円増の442億円、セグメント利益は14億円増の72億円です。

触媒関連で石油精製触媒の販売が回復したほか、原料の余剰在庫売却による一過性利益がありました。

ファインケミカル関連では、研磨材を中心に需要が好調で一部では生産能力フル稼働となっています。ファインセラミックス関連では半導体製造装置関連製品の受注が増加しました。

その他はご覧のとおりです。

連結貸借対照表

| | 【億円】 | | |
|-----------------|----------|--------------|-------|
| | 2021年3月末 | 2022年3月末 | 増減 |
| 流動資産 | 5,483 | 5,333 | △ 150 |
| 固定資産 | 1,541 | 1,609 | +67 |
| 総資産 | 7,025 | 6,942 | △ 82 |
| | | | |
| | 2021年3月末 | 2022年3月末 | 増減 |
| 流動負債 | 1,970 | 2,538 | +567 |
| 固定負債 | 878 | 527 | △ 350 |
| 純資産 | 4,176 | 3,876 | △ 299 |
| | | | |
| JVキャッシュ 当社持分 | 1,970 | 2,396 | +425 |

次に連結貸借対照表です。

総資産は期初からほぼ横ばいの6,942億円でした。

流動負債は567億円増えて2,538億円となりました。増加は社債の短期振替と国内案件の前受金入金によるものです。

固定負債は社債の振替により減少しています。

純資産は最終損失計上により減少し3,876億円となりました。自己資本比率は55.8%です。

貸借対照表に計上されていないジョイントベンチャーが保有するキャッシュの当社持分は2,396億円です。主にLNGカナダプロジェクトのJVのものになります。

連結キャッシュ・フロー計算書

【億円】

| | FY2020 | FY2021 | 増減 |
|----------------|--------|--------------|------|
| 営業 キャッシュ・フロー | 124 | 193 | +68 |
| 投資 キャッシュ・フロー | △ 135 | △ 76 | +58 |
| 財務 キャッシュ・フロー | 1 | △ 1 | △ 3 |
| 現金及び現金同等物の増減 | 44 | 194 | +149 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,682 | 2,880 | +197 |

次に連結キャッシュ・フロー計算書です。

営業キャッシュ・フローは193億円のプラスです。今期最終赤字でしたが赤字の原因となった特別損失がキャッシュ・アウトを伴わないものだったこともあり、営業キャッシュ・フローはプラスとなりました。

投資キャッシュ・フローは76億円のマイナスです。大型の投資はありませんでした。

期末の現金及び現金同等物残高は、為替換算を含め197億円増加し2,880億円でした。

受注の状況

i) 受注高

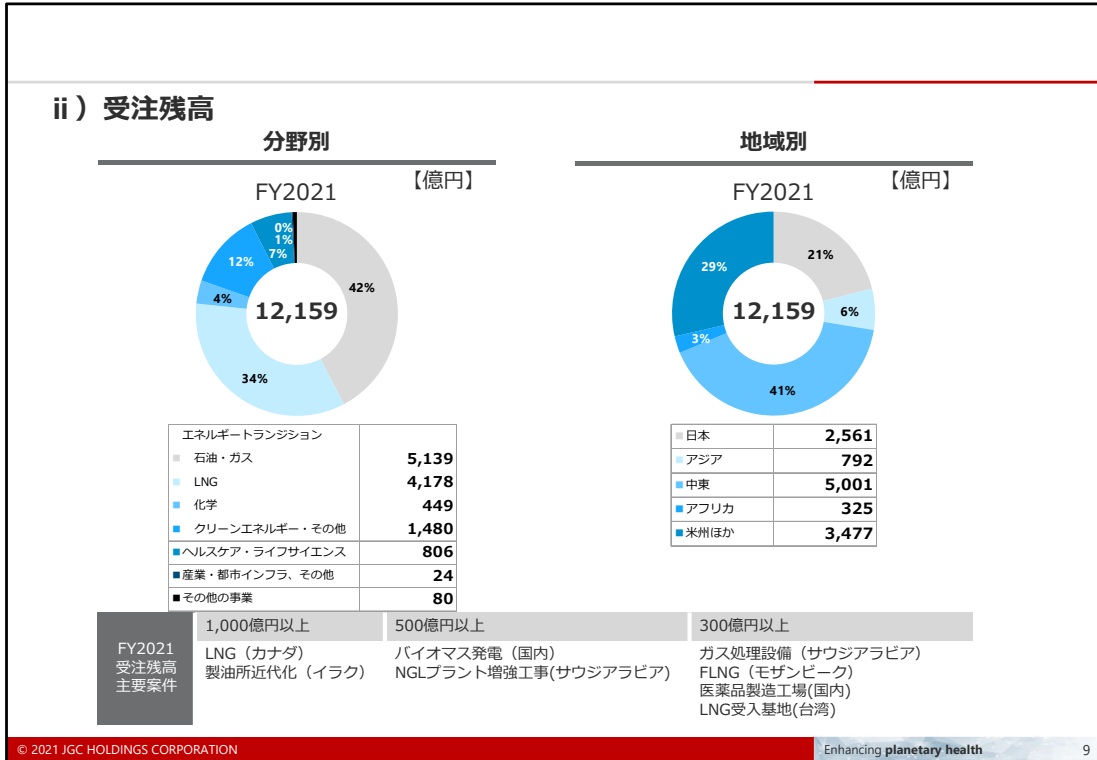
| | FY2020 | FY2021 | 【億円】 FY2021 通期予想 |
|----|--------|--------------|------------------------|
| 海外 | 5,009 | 1,450 | 3,400 |
| 国内 | 1,821 | 1,708 | 1,600 |
| 合計 | 6,830 | 3,159 | 5,000 |

FY2021
主要受注案件

医薬品製造工場(国内)
NGLプラント増強工事(サウジアラビア)
LNG受入基地(台湾)

次に受注高です。

今期の受注高は海外1,450億円、国内1,708億円、合計3,159億円となりました。期末に大型案件の決定を見込んでいましたが、ウクライナ情勢による影響などから期待案件が先送りされたことなどにより目標の5,000億円は下回りました。



次に受注残高です。

2022年3月末の受注残高は1兆2,159億円となりました。分野別では石油・ガスが42%、LNGが34%、地域別では中東が41%、米州が29%、国内が21%となっています。

主な受注残高の案件は、LNGカナダプロジェクト、イラク製油所近代化プロジェクト、国内のバイオマス発電案件、サウジアラビアのNGLプラント増強工事などです。

2022年度の業績見通し

| | 【億円】 | |
|-------------------------|--------------|----------------|
| | FY2021 実績 | FY2022 業績予想 |
| 受注高 | 3,159 | 8,400 |
| 売上高 | 4,284 | 6,000 |
| 売上総利益 | 453 | 540 |
| 利益率 | 10.6% | 9.0% |
| 営業利益 | 206 | 260 |
| 経常利益 | 300 | 300 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益・純損失 | △ 355 | 200 |
| 1株当たり配当金 | 15.0円 | 24.0円 |
| 換算レート(米ドル) | - | 123円 |

最後に2022年度の業績見通しです。

受注高は、8,400億円を見込みます。

売上高は、LNGカナダプロジェクト、イラク製油所近代化プロジェクトの大型案件や国内案件の進捗により前期比増収の6,000億円。

粗利益は、不稼働損の解消、新規案件の貢献により540億円。

利益率は、ウクライナ情勢に伴うプロジェクト採算へのコスト影響リスクの反映と機能材製造事業での原料や燃料価格の高騰による下押し影響を見込んだことで、9.0%。

営業利益は260億円です。

経常利益は前期比横ばいの300億円。

親会社株主に帰属する当期純利益は、黒字転換となり200億円。

配当金は配当性向30%で1株当たり24円への増配を見込みます。

この予想に使った為替レートは1米ドル=123円です。

以上で決算概要の説明をおわります。

参考資料

参考（2022年度 セグメント別 業績見通し）

【億円】

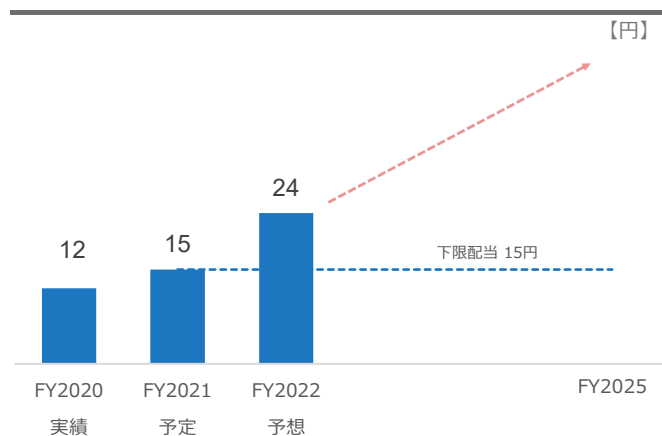
| | | FY2021 実績 (※) | FY2022 業績予想 | 前期比 | |
|------------|---------|------------------|----------------|--------|-------|
| 総合エンジニアリング | 売上高 | 3,779 | 5,470 | +1,690 | +45% |
| | セグメント利益 | 171 | 261 | +89 | +53% |
| 機能材製造 | 売上高 | 442 | 450 | +7 | +2% |
| | セグメント利益 | 72 | 55 | △ 17 | △ 25% |
| その他 | 売上高 | 61 | 80 | +18 | +29% |
| | セグメント利益 | 10 | 14 | +3 | +35% |
| 調整額 | 売上高 | - | - | - | - |
| | セグメント利益 | △ 47 | △ 70 | △ 22 | - |
| 合計 (連結) | 売上高 | 4,284 | 6,000 | +1,715 | +40% |
| | セグメント利益 | 206 | 260 | +53 | +26% |

(※) 持株会社である当社で発生するグループ管理運営費用は、従来、総合エンジニアリングセグメントに含めていましたが、グループ内の業績評価方法を変更したことに伴い、2022年度より調整額に含めることとしています。この変更に基づき、2021年度実績の総合エンジニアリング及び調整額のセグメント利益を調整して表示しています。

参考（株主還元方針）

- 剰余金の配当は、連結配当性向30%を目途とし、かつ、1株当たり年間配当額15円を下限とします
- 自己株式取得は、業績見通し及びフリー・キャッシュ・フローの状況を勘案して適宜実施を検討します

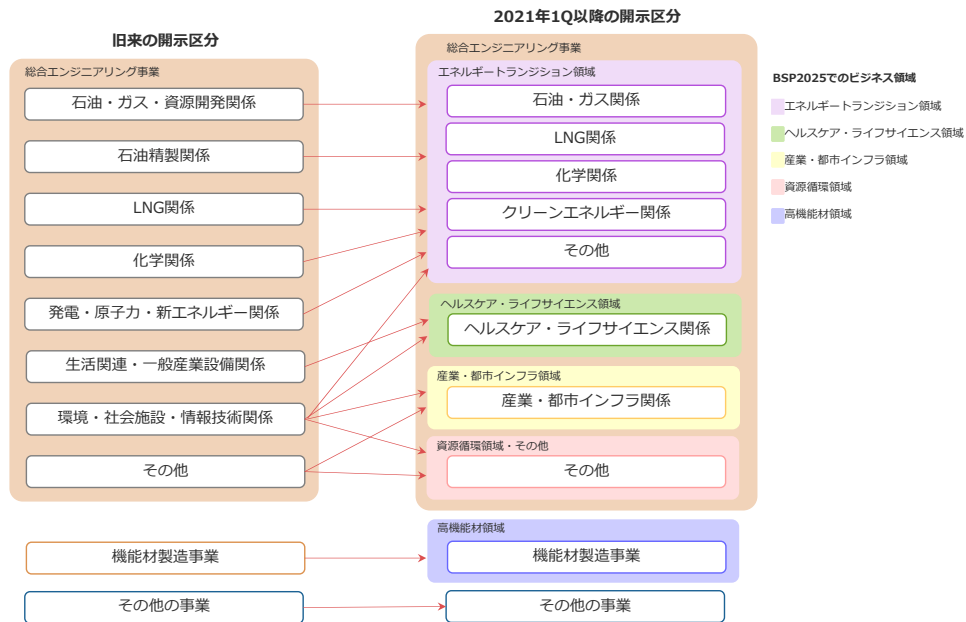
1株当たり配当金の推移



参考（地域別売上高、受注高）

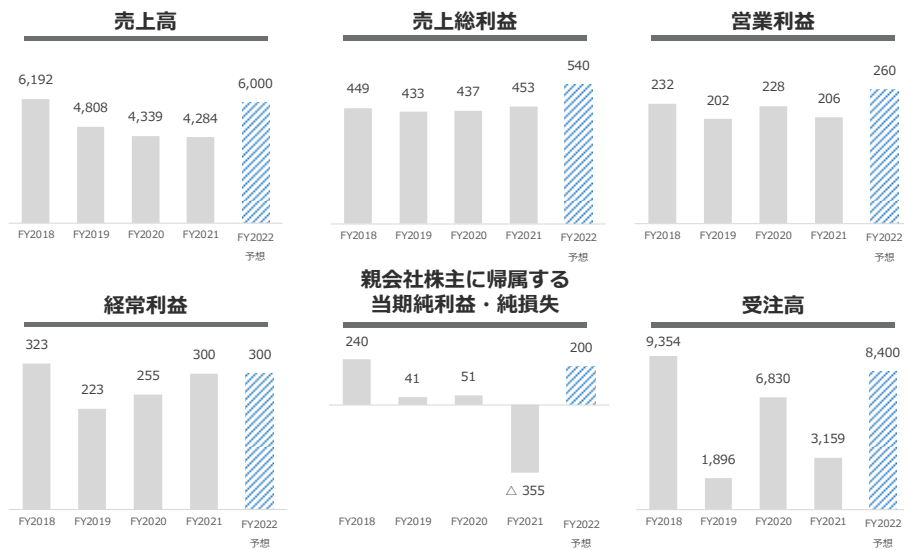
| 売上高 | | | 受注高 | | |
|------|----------------|-----------------------|------|----------------|-----------------------|
| | 【億円】 | | | 【億円】 | |
| | FY2020 | FY2021 | | FY2020 | FY2021 |
| 日本 | 1,739 (40.1%) | 1,374 (32.1%) | 日本 | 1,821 (26.7%) | 1,708 (54.1%) |
| アジア | 533 (12.3%) | 403 (9.4%) | アジア | 99 (1.4%) | 679 (21.5%) |
| 中東 | 315 (7.3%) | 502 (11.7%) | 中東 | 4,521 (66.2%) | 637 (20.2%) |
| アフリカ | 480 (11.1%) | 601 (14.0%) | アフリカ | 173 (2.5%) | 20 (0.6%) |
| 米州ほか | 1,271 (29.2%) | 1,402 (32.8%) | 米州ほか | 215 (3.2%) | 113 (3.6%) |
| 合計 | 4,339 (100.0%) | 4,284 (100.0%) | 合計 | 6,830 (100.0%) | 3,159 (100.0%) |

参考（開示情報の変更）



参考（業績推移 - 通期）

【億円】



将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
日揮ホールディングス株式会社
グループ経営企画・推進部
コーポレートコミュニケーショングループ
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com